

(土曜日——夜の部)

メッセージ 6

**第六の要因：わたしたちが命において成長し、
奉仕において有用であるために、天然の個性を対処する**

聖書：マタイ 16:22-26. ガラテヤ 2:20.

Ⅱ コリント 1:8-9. 2:15. 3:3-6. 4:5. 5:20. エペソ 6:20

I. わたしたちは命において成長し、奉仕において有用であるために、天然の個性を対処しなければなりません：

- A. わたしたちの天然の個性が示しているのは、わたしたちの生まれつきの本性において何であるかです。わたしたちの性格は、わたしたちの天然の個性の外側の表現です。天然の個性は、わたしたちが内側で何であるかであり、性格は、わたしたちが外側で表現するものです。
- B. 内側の天然の個性と外側の性格は、わたしたちの存在のエキス、本質です。内側の自己は、わたしたちの天然の個性であり、表現された自己は、わたしたちの性格です。
- C. クリスマン生活と召会生活で、わたしたちの有用性を最も損なうものは、わたしたちの天然の個性にしたがった生活です。それは、わたしたちが神聖な命において成長することに対する真の敵であり、主の御手の中でのわたしたちの有用性を駄目にする主要な要因です。
- D. わたしたちは、自分の本性、天然の個性の中の「こぶ」に注意を払うことを学ばなければなりません。もしわたしたちがこの「こぶ」を対処するなら、わたしたちの命における成長は、妨げられることなく、すばやく成長し、また主にとってさらに有用になります。
- E. 個性は、マタイ第 16 章 23 節から 26 節で用いられている、「思っている」、「自分」、「魂の命」という用語において暗示されています。個性は、これらすべての要素を含んでいます。実際、わたしたちは、自分の天然の個性が自己であると言ってもよいでしょう。
- F. わたしたちの天然の個性を対処することが意味するのは、わたしたちの自己（マタイ 16:22-26）、わたしたちの魂の命（マタイ 16:22-26）、わたしたちの古い人（ローマ 6:6）、「わたし」（ガラテヤ 2:20）を対処することです。あなたがどれほど主にとって有用であるかは、あるいは、あなたがどれほど召会に対して問題を引き起こすかは、あなたの天然の個性がどれほど殺されているかにかかっています。わたしたちの天然の個性を対処する方法は、わたしたちが十字架につけられた人であることを認識して覚えておくこと、また一日中その認識と実際の下にとどまることです（ガラテヤ 2:20. 5:24-25. ローマ 6:6. 8:13 後半）。
- G. わたしたちの天然の個性は、わたしたちの自己です。わたしたちの天然の個性は、わたしたちの中にあり、またわたしたちそのものです。実際的に言って、自己を否むことは、自分の天然の個性を否むことです。わたしたちはクリスマンとして、継続的

に霊を訓練することによってキリストを生き、自分の自己を拒絶し、別の命によって、すなわち、命の木で表徴されている十字架につけられ復活したキリストによって生きなければなりません——創 2:9. ピリピ 1:21 前半. 啓 2:7. I ペテロ 2:24. I テモテ 4:7-8。

II. わたしたちは、主の働きにおいて、自分の天然の個性によって制限されるべきではありません。むしろ、わたしたちは、自分自身、自分の個性に反して生活することを学ぶべきです。わたしたちが持っているものは何であれ、またわたしたちから出てくるものは何であれ、主の奉仕の中へともたらされることはできません——ローマ 1:9. 7:6. II コリント 3:3-6. 4:5 :

- A. ある兄弟たちの天然の個性は、強い自信を反映しています。彼らの自信は、自分の自己を継続的に拒絶することによって、また復活の三一の神に頼ることによって打ち倒されなければなりません——II コリント 1:8-9。
- B. ある人が神による照らしを受けることが少なければ少ないほど、ますます自分は神に従うことで何の問題もないと考えます。ある人が軽々しく主張すればするほど、ますますこの事は、彼が決してどのような代価も払ってこなかったことを証明します。神と親密であると語って、そのふりをしている人たちは、おそらく神から最も遠く離れている人たちです——マタイ 6:1-6, 16-18. ルカ 18:9-14. ピリピ 3:3。
- C. ある兄弟たちの天然の個性は、環境が理想的でないか、あるいは状態が適切でない限り、働くことを拒絶するという個性です。わたしたちは、働くことができる前に特定の環境を要求するという天然の個性を拒絶しなければなりません——I ペテロ 4:1. I コリント 9:23-27。
- D. わたしたちは、次のような命によって神と共に働く必要があります。この命は、務めを遂行するために、すべての状況に適合することができ、どのような種類の取り扱いにも耐え忍ぶことができ、どのような種類の環境でも受け入れることができ、どのような種類の状態でも働くことができ、どのような種類の機会でもとらえることができる命です。わたしたちはあらゆることにおいて、またあらゆる場所で、キリストを経験する秘訣を学ばなければなりません——II コリント 6:1-2. ピリピ 4:5-9, 11-13。
- E. 天然の個性の一つのタイプは、「英雄」タイプです。このタイプの人は、あらゆることを、印象的で完璧で完全な方法で行なわなければならないのです。もう一つのタイプの天然の個性は、「非英雄」タイプです。「非英雄」タイプの人は、どのようなことも徹底的な方法で、あるいは完全な方法で行ないません。
- F. ある責任者の兄弟たちは、彼らの天然の個性の中に強い要素を持っており、それは彼らが他の人と組み合わせられて協力することを妨げます。これらの人たちは通常、とても能力があるので、召会生活の中で容易に問題を引き起こす可能性があります。さらには、彼らの個性は、支配的な態度、抑圧する霊、批判する語りかけ、律法的で赦そうとしない霊と一になり得ます。
- G. 別の責任者の兄弟たちは、自分がすべての人に好かれたい、まただれをも怒らせたくないという天然の個性を持っているかもしれません。このことは、主の働きにおける彼らの機能を制限してしまいます。なぜなら主が、訓戒や警告という正直な言葉、あ

るいは率直な言葉を聖徒たちに語りたとき、彼らはそれをしようとしなからず——参照、コロサイ 1:27-29. I テサロニケ 5:12-13. I コリント 10:5-13. ヘブル 3:7-19. 12:25 :

1. さらに、このような個性を持つ人たちは、聖徒たちに対して天然の愛情という「異火」を表現する可能性があります。さらには、彼らはこのことによって、召会、聖徒たち、働きを顧みることにおいて、正しく識別し正しく監督することに欠けてしまうほどになります——レビ 2:11. 10:1-2. 民 6:6-7. ピリピ 1:9. I ペテロ 2:25. 5:2. ヘブル 13:17。
2. ナジル人の誓願の主要な部分は、天然の愛情を通してくる死から、自分自身を分離することです（民 6:6-7）。また穀物のささげ物に蜜がないことが意味しているのは、キリストには天然の愛情も、天然の善さもないということです（レビ 2:11. マタイ 12:46-50. マルコ 10:18）。

H. わたしたちの間のあらゆる反逆の源は、それに関与していた人の天然の個性でした。地位を求める野心（サタンからくる）は、墮落したあらゆる人の天然の個性の主要な要素です。異議を唱えることの根源は、自己であり、天然の個性です——イザヤ 14:12-13. 民 12:1-2. 16:1-3. サムエル上 15:10-12. マタイ 18:1-4. 20:20-28. ルカ 22:25-27. II コリント 10:4-5。

I. 列王紀下第 4 章 8 節から 10 節は、エリシャが通るたびに、エリシャに食事を提供することによって、エリシャを受け入れたシュネムの女についての記載を与えています。エリシャは、メッセージを一つもすることなく、また奇跡を一つも行なうことはありませんでしたが、その女は、エリシャの食事の仕方によって、彼が「聖なる神の人」であることを認めました。これが、エリシャが他の人に与えた印象でした。ですから、わたしたちは、次の事を自らに問わなければなりません、「わたしたちは他の人にどのような印象を与えているのでしょうか？」——参照、II コリント 2:15. 5:20. エペソ 6:20。

J. もし主が、わたしたちの天然の個性を伴った外なる人を砕くなら、わたしたちはもはや、他の人たちに触れるとき、自分の強い自己を他の人に示すことはなくなるでしょう。むしろわたしたちが人々に触れるときはいつでも、わたしたちの霊が流れ出るようになります。わたしたちは自分の天然の個性の問題を突破することはできませんが、主はこの事を行なうことができます——ヨハネ 7:37-38. ルカ 18:24-27. 19:2。

III. その霊が、わたしたちの外なる人、自己、天然の個性を対処するのは、複合の霊の中にある十字架の殺す要素によってであり、その霊の取り扱いによってであり、その霊としてのキリストの輝きによってであり、召会生活をする事、実を結ぶ事、小羊を養うことによってです :

A. わたしたちは自分の天然の個性を対処するために、自己を否み、十字架の殺す力を適用しなければなりません。わたしたちが自分の経験において見て、認識する必要があるのは、わたしたちの霊の中にある、複合の、すべてを含む霊は、キリストの尊い死と、キリストの死の甘さと効力とを含んでいるということです。これらは、わたしたちの天然の個性を殺すことができます——出 30:23-25. ピリピ 1:19. ローマ 8:13 :

1. キリストは複合の霊として、わたしたちの薬であり、わたしたちをいやし、生かして、わたしたちの内側にあるすべての消極的なものを殺します。わたしたちはキリストをわたしたちの薬とするとき、「イエスの致死力」、イエスの殺しを享受します——Ⅱコリント 4:10-11。
 2. その霊には十字架の殺す要素があります。わたしたちは朝に、自分自身を拒絶して神をわたしたちの中へと受け入れるとき、一日中、殺す過程がわたしたちの内側で進行しているという感覚を持ちます。
- B. 聖霊の取り扱いの目標は、わたしたちが砕かれた人となることです。神は、わたしたちの中で道を得ることができるためには、わたしたちが完全に無能になり、完全に無力になるという状況にわたしたちを追いやらなければなりません。わたしたちが経過する試みの目的は、わたしたちが神を知るという益を受けて、神を表現することができるためです——Ⅱコリント 1:8-9. 12:9-10. イザヤ 40:28-31. ホセア 6:1-3 :
1. 外なる人を砕くことは、わたしたちの天然の個性を砕くことです。わたしたちの天然の個性は、わたしたちが霊を解放することを難しくします。神によって砕かれていない人は、主の働きを託されることはできません。わたしたちがもともと何であるかは、わたしたちの天然の現れと味わいも含めて、神と一致せず、神と合致しません——エレミヤ 48:11。
 2. わたしたちの生まれながらのものは何であれ、それが良くても悪くても、有用であってもなくても、天然のものであり、聖霊が神聖な命をわたしたちの存在の中へと構成し込むことを完全に妨げます。この事のゆえに、わたしたちの天然の強さ、天然の知恵、天然の賢さ、天然の個性、天然の欠点、天然の美德、それらに加えて、わたしたちの性格と習慣はみな、取り壊されなければなりません。それは、聖霊がわたしたちの中に、新しい個性、新しい性格、新しい習慣、新しい美德、新しい属性を形成するためです。
 3. 再構成の働きを完成するために、神の聖霊はわたしたちの内側で行動して、神聖な命をもってわたしたちを照らし、わたしたちに靈感を与え、わたしたちを導き、わたしたちに浸透します。神の聖霊はまた、わたしたちの環境の中で働き、わたしたちの状況の中であらゆる詳細、人、事、物を案配して、わたしたちの天然の存在のすべての面を取り壊します。それは、神の聖霊がわたしたちを、神の長子としてのキリストのかたちに同形化するためです——ローマ 8:28-29。
 4. わたしたちの環境の中のあらゆるものは、わたしたちの神によってわたしたちに測って割り当てられました。神はわたしたちの周りのあらゆるものを案配します。その唯一の目的は、わたしたちの目立つ部分、鈍感な部分、硬い部分を砕くことです——詩 39:9. マタイ 10:29-30. ルカ 12:6。
 5. もし外なる人が砕かれないなら、内なる人は解放されません。宝が解放されることができる前に、土の器は砕かれなければなりません（Ⅱコリント 4:7）。膏油が石膏の壺の中にある限り、香りは解き放たれることはないでしょう（ヨハネ 12:3）。
 6. 砕かれてない人は、他の人に服従することはできません。キリストを服従の命として経験した人たちだけが、彼らの天然の個性が反逆的であることを知っています

——ピリピ 2:5-8。

7. 高慢な人はだれでも砕かれたことがなく、他の人を責める人はだれでも砕かれたことがなく、自分が何者でもないのに、ひとかどの者であると考えている人はだれでも砕かれたことがなく、他の人と競い合う人はだれでも砕かれたことはありません——ピリピ 3:3. I コリント 6:7. ガラテヤ 5:25-26. 6:3。

8. 他の人によって決して、圧迫されたことがなく、虐待されたことがなく、見くびられたことがなく、不当に扱われたことがない人は、生のままであり、野蛮であり、神にとって有用ではありません。わたしたちは神によって遣わされ、召され、神の働きを託されたので、すべての聖徒たちがわたしたちを称賛し、尊ぶという誤った観念を持つべきではありません。今日わたしたちを尊んでいる人は、明日わたしたちをあざけり、足で踏みつけるかもしれません。これが、主に仕える者の道です——ヨハネ 2:23-25. 使徒 14:11-13, 18-21. マルコ 11:8-10. 参照、15:9-15。

C. わたしたちの天然の個性から救い出されることはまた、大いなる光としてのキリストの内なる輝きからやって来ます。この輝きは、神が見ているものを見ることです——箴 4:18. 20:27. 詩 18:28-29. マタイ 4:16. ルカ 11:34-36. 使徒 9:3-5. 22:6-10. 26:13-19. エペソ 5:13. ピリピ 2:15-16 :

1. クリスチャンの経験の中で最も偉大なものは、神聖な光の輝きからやって来る殺しです。輝きは救いであり、見ることは救い出されることです。主の栄光の中の主のビジョンを真に見る人はみな、自分の良心の中で、自分の汚れに関して照らされます——イザヤ 6:1-8。
2. 主はわたしたちに多くの光を与えて、わたしたちを暴露し、わたしたちをへりくだらせます。このような照らしだけが、わたしたちの高ぶりを取り除きます。そしてこの光だけがわたしたちの肉の活動を停止させ、わたしたちの天然の個性を伴ったわたしたちの外側の殻を砕きます。わたしたちは神を見れば見るほど、神を認識すればするほど、神を愛すれば愛するほど、ますます自分自身を忌み嫌い、ますます自分自身を否むようになります——ヨブ 42:5-6. マタイ 16:24. ルカ 9:23. 14:26。
3. わたしたちは、自己の努力、天然の個性によって、寛大であらうとしたり、辛抱強くあらうとしたりすべきではありません。むしろ、わたしたちは神の光の中でひれ伏し、神の砕きを受け入れ、環境によってわたしたちが砕かれ、取り壊されることを学ぶべきです。

D. もしわたしたちが人々を顧みることに於いて、主の御手の中で有用でないなら、それはわたしたちの天然の個性が原因です。召会生活をする事、実を結ぶ事、小羊を養う事は、わたしたちの天然の個性を殺す三つの事柄です。わたしたちは天然の個性を対処するために、神と接触して恵みとしての神が注入されることによって、神を愛さなければなりません。わたしたちはまた、人々と接触して恵みとしての神を注入することによって、人々を愛さなければなりません——ヨハネ 21:15-17. エペソ 3:2. 4:29. I ペテロ 4:10

IV. 神がヤコブを対処することは、新約の信者たちの中の、聖霊の取り扱いと造り変える働きの完全な絵です。この事は、新約の信者たちの天然の個性を対処するためです。そ

うして、キリストは彼らの内に形づくられて、彼らの中で完全に成長し、彼らを円熟へと至らせます。この事は、神がわたしたちを祝福することであり、またわたしたちを他の人たちにとっての祝福とならせることです。それによって他の人たちは、神聖な三一の神聖な分与をもって供給されます——ローマ12:2. IIコリント3:18. ヘブル6:1前半. 創12:1-3. エゼキエル34:26. 民6:22-27 :

- A. ヤコブの生涯が示しているのは、神の王子であるイスラエルになるために、天然の人が砕きを経過しなければならないということです。神がわたしたちの環境を通して取り壊すものは、わたしたちの価値のない自己、天然の個性です。しかしながら、神がわたしたちの中へと建造し込むものは、神ご自身、すなわち、比類のない、無上の、無限の方です—— I コリント 3:12。
- B. 神は、ヤコブが全生涯にわたってもがく生活をするように決めました。神は主権をもって、ヤコブの生涯のあらゆる環境、状況、人を案配しました。そして、これらのものをすべて共に働かせてヤコブの益とならせました。それは、押しのける者、かかとをつかむ者であるヤコブを、神が造り変えて、彼をイスラエル、すなわち神の王子とならせることができるためでした——創 25:26. 32:24-32。
- C. ヤコブの命における円熟（造り変えの最終段階）の最も力強い現れは、ヤコブがあらゆる人を祝福したという事実です。ヤコブの押しのける手は、祝福する手となりました。祝福することは、命における円熟を通して、神が命として他の人にあふれ流れることです——創 47:7, 10. 48:14-16. 49:1-28。